



発行日 平成28年3月18日
発行所 特定非営利活動法人
フードコミュニティ目黒
理事長 渥美 昭美
〒152-0001
東京都目黒区中央町2-32-5
スマイルプラザ中央町
TEL : 03-5768-0707
FAX : 03-5768-0717
E-mail : okowa@fc-meguro.com
<http://www.fc-meguro.jp/>

就労移行支援事業所に期待すること

東京労働局職業安定部職業対策課障害者雇用対策係長 八戸 和子

障害をお持ちの方の就労意欲の高まりと企業理解の促進により、企業で働く障害者の方の数は年々増加しています。平成27年6月1日現在の東京都内民間企業の雇用状況は、雇用率は1.81%と4年連続で前年を上回り、雇用されている障害者数は約16万6千人と過去最高を更新しています。障害種別でもすべての障害で増加していますが、特に精神障害者の方の伸びが大きくなっています。

東京都内には、障害者の方を雇用したい企業がまだまだ多数ありますので、働きたい意欲がある障害者の方にとっては、チャレンジする機会が多くあります。一方で、就職してから安定して長く勤務していくためには、就職に向けてしっかり準備していただく必要があります。就労移行支援事業所を始めとする就労支援機関等とハローワークは、就労に向けた準備性の確認段階から情報共有し、段階に応じて適切な支援を行っていくことが重要です。

東京労働局では、福祉・教育・医療の各分野にいる障害者の方に就労の分野にチャレンジしていただくよう「福祉、教育、医療から雇用への移行推進事業」を積極的に展開しており、その一環として、企業で働くことの理解や就労支援方法への基礎知識を高めるための就労支援セミナー、障害者雇用企業見学会、就労支援経験が豊富な支援機関見学会を開催しております。支援機関の皆様同士がノウハウを共有しネットワークを拡げる場として、このような機会もぜひご活用ください。

就労移行支援事業所の皆様には、ハローワークや他の関係機関のスタッフと顔が見える連携の中で信頼関係を構築し、就職前の準備訓練から準備性が整った障害者の方の送り出し、就職後の職場定着支援まで、お互いに役割を分担しながら、働きたい障害者の方と雇用したい企業双方に対し、ご支援いただく事を大いに期待しています。

フードコミュニティ目黒 (FC目黒) の状況

フードコミュニティ目黒理事長 渥美 昭美

FC目黒では、平成27年度の就労移行の利用者は昨年12月に1名が就労し、今年に入り2名の利用者が就労しました。今年の2名は「東京しごと財団」の面接、実習で決まりました。現在まだ3名おりますが、1名が企業実習で頑張っています。もう1名は委託訓練を終了した所です。平成28年度4月より障害者差別解消法が施行されます。支援員は各企業へ合理的配慮の提供を踏まえたお願いをしている所です。就労に関しては職員と利用者の努力の賜だと思っています。

そして、就労継続(B型)の利用者の平成27年の工賃が月34,000円に成る所です。就労継続(B型)の工賃アップは利用者、職員の努力と関係機関さんの多大なご協力も有りここまで来ました。

これからもFC目黒にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年度を振り返って

フードコミュニティ目黒施設長 吉塚 晋

一年間が瞬く間に過ぎましたが、利用者は自分の目標を決め、それに向かって家族の応援も受けながら日々作業・訓練に頑張ってきました。これも、皆様のお蔭と深く感謝しております。

いくつかの行事で、今年度を振り返ってみたいと思います。

★『スマプラフェスタわっしょい!』の開催

スマイルプラザは開館6年目を迎え、初めての館祭りを行いました。区をはじめ、地域の皆様の協力を得て「スマイルプラザ内の各施設の活動内容の様子などを紹介し、地域の周知を促進し、地域の方々の理解と交流を深める」を目的に、中央町児童館、しいの実社、SUN、ブレス学芸大学、セサミ、びりいぶ、目黒本町福祉工房分室、就労支援センター、FC目黒が何回も会議を開き、準備してきました。今回はFC目黒の理事長が実行委員長を引き受け、各施設がそれぞれの特徴を生かし色々なイベントを企画し、たくさんのお客さんを迎え、初めてにしては上出来という評価を頂きました。

FC目黒は、特にこのようなイベントを行うのは初めてでしたが、焼きそばやおにぎり、赤飯、山菜おこわ、弁当、お萩の販売、喫茶(コーヒー・紅茶・抹茶・お萩・チーズケーキ)の開店、家族によるバザー等を行いました。利用者も、販売・接客係と各施設のイベントに参加するお客係に分かれて交代で楽しみました。来年度からは、毎年やっていけたらと思います。

★一年に一度の会食会

この会食会は、FC目黒開所以来、毎年行っている行事です。最近の4年間は、恵比寿にあるウェスティンホテル [ザ・テラス] のビュッフェスタイルのランチを食べに行っています。調整手当を使って、ちょっとおしゃれをして出かけます。行く前に、「がつつ食べない」「食べられる量をとって、残さないで食べる」等々、守ることを話し合いました。ケーキを食べ過ぎてお腹を壊したこと、食べ過ぎて食べた物を後で戻してしまったこと……しっかり反省をして、年々自分でうまく調整して参加している利用者の姿があります。食事のマナーを守ること等、社会の中で生きていくための良い経験ができたようです。



ウェスティンホテルの前で

★休日サービス提供

始めて3年目になり、今年は全部で9回行いました。毎回7割程度の参加者がありました。日頃は、作業に集中して精一杯頑張っているのので、休日の行事は楽しみの一つのようなようです。今年は、劇団四季の「ライオンキング」の観劇や念願のスカイツリー見学。毎回行っているボーリングや障害者記念週間事業への参加。1月の餅つき大会も好評でした。

来年度は15回程度を予定し、利用者の希望も聞いて計画中です。就労した人たちとの交流もかねて、様々な活動が提供できたらと思っています。



スカイツリー見学

自主製品のお弁当も地域のお年寄りの方々からの注文が少しずつ増えてきています。来年度は、総合庁舎での販売をお萩だけでなくお弁当も計画しています。今後も地域の人たちに親しまれるFC目黒を目指して頑張っていきたいと思います。

賛助会員募集

★会費は、団体：年額10,000円
個人：年額 3,000円

★ぜひ、ご協力のほどお願いいたします。

振込先

郵便振替口座00140-9-706649
特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒

★平成28年度の加入をお願いいたします。

就労移行の利用者たち

『私たち就職しました！』

就労移行支援事業では、今年度定員6名で一般就労に向けて各利用者の目標や課題に応じた様々な取り組みを行い、3名の利用者の一般企業への就労を実現することができました。自分らしさを発揮して、企業で生き生きと働くみなさんの姿を紹介させていただきます。

= Kさん (19歳男性) =

大手介護関連企業の事務職に就職したKさん。障害者委託訓練で身に付けたパソコンのスキルと、面接を通して持ち前の素直さと真面目な人柄が評価されての採用となりました。

就労当初は、初めての社会人生活に緊張と不安を感じる様子が見られましたが、職場の同僚や上司の方々のサポートもあり、すぐに職場になじむことが出来ました。今ではスーツ姿も板につき、表情や立ち居振る舞いにも社会人としての自覚の高まりを感じます。3月下旬には別の部署への異動が予定されていますが、今ではもう不安よりも新しい仕事への期待が上回っているようです。



= Oさん (20代女性) =

全国各地に展開する外食チェーン『天井 てんや』で働くOさん。一日中来客が絶えない忙しい店舗において、開店前の準備や厨房での洗い物、盛り付け業務を任されています。

一人暮らしのOさんにとって生活面、健康面を安定させることは就労を続けていく上では特に大切な課題です。長時間の立ち仕事に必要な体力、精神力を身に付けるため、食生活の改善や安定した睡眠リズムが確立出来るように、具体的な目標を決めて取り組むとともに毎日の勤務終了後にはFC目黒に立ち寄り、簡単なマッサージ等をしながらか仕事のことや趣味の話等をして、疲れやストレスが残らないようにしています。

「働き続けて一人暮らしを続けていきたい」と話すOさんの希望が叶うよう、引き続き全力で支援していきたいと思ひます。



= Wさん (30代女性) =

元気で礼儀正しい挨拶と明るい笑顔がとても素敵なWさん。東京しごと財団の合同面接会、2週間の職場実習を経て、介護付き有料老人ホーム『グランヴィイ神楽坂』への就職が決まりました。

厨房での食洗機を使ってのお皿洗い、給食の盛り付け補助、清掃作業等、FC目黒で身に付けたスキルを存分に活かせる職場ということで、Wさんも自信を持って仕事に臨むことができています。向上心やチャレンジ精神が豊富なWさん、新しい業務を覚えるのがとても楽しい様子で、勤務後にFC目黒に立ち寄り、職場での出来事を嬉しそうに話してくれています。

職場の皆さんの明るく優しい笑顔に囲まれ、今日もWさんは生き生きと働いています。

「私たちが作っています!!」—自主製品の売り上げUPを目指して—

FC目黒といえば美味しいお弁当!!

利用者の皆さんもそれぞれの持ち味を活かし、盛り付け、配達、厨房清掃等、美味しいお弁当をお客様のもとに届けるために必要な多くの業務に携わっています。

一般就労を目指す利用者が取り組んでいる厨房内での盛り付け業務は、細かいミスも許されない緊張感漂う中での作業です。ここでの経験は就労を目指す利用者にとって貴重な訓練の場になっています。

就労継続B型の利用者もそれぞれの目標と課題に応じて、配達や厨房清掃業務に取り組んでいます。

特に配達の業務は接客を通して、適切な挨拶や言葉遣い、公共の場において求められるルール等を学ぶとともに、手渡しでお弁当を届けることによって地域の方々とのコミュニケーションを深める場としても大きな意味を持っています。

またFC目黒の自主製品の目玉である「赤飯」「山菜おこわ」「お萩」の製造や販売にも多くの利用者が活躍しており、地域のイベントへの出店や、区役所ロビーでの販売は、地域交流、社会参加としての貴重な場になっています。

今年度は就職者3名の内2名が、厨房での業務の中で身に付けたスキルを力にして、一般企業での調理、厨房関係の仕事に就職することができました。

今後も「フードコミュニティ目黒」の名に負けないよう、お弁当・お赤飯等の製造・販売をさらに充実させ、一般就労を目指す利用者の就労実現、及び就労継続B型の利用者のさらなる工賃アップによる生活向上を目指して、利用者とともにさらに努力をしていきたいと考えています。



配達の様子



地域イベントへの出店



*イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707

(9:00~17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です!

宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに、和洋折衷バラエティ豊か。すべて手作りしております。



白米弁当/575円
赤飯弁当&山菜おこわ弁当/各620円
(宮城県産こがね餅米100%使用)



赤飯
グラムにより300~400円



山菜おこわ



お萩(5個入り)
400円

価格はすべて内税となっております。